



議会だより

たちばな

第81号

令和4年8月臨時会（第4回）
令和4年9月定例会（第5回）

第12回全国和牛能力共進会出場決定!!
御健闘をお祈りします。



小林秀峰高校農業クラブのみなさん

左から 児玉 汐音さん 永井 夢菜さん 松元 未美さん（下麓区）
古川 颯太さん（南狭野区） 吉田 雫さん 末永 桜子さん

もくじ

- 8月臨時会・9月定例会のあらまし、令和3年度一般会計決算・・・P2
- 9月定例会の主な内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
- 企業会計及び特別会計の収支、各委員会報告・・・・・・・・P4～P5
- 決算の主な内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
- 第4回臨時会・第5回定例会の議決結果・・・・・・・・・・・・P7
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8～P13
- シリーズ「高原での暮らしはどげんじゃひか？」・編集後記・・・P14

秀峰高校高原農場で日々飼養管理をしています。



※議会傍聴をしてみませんか。

次の議会定例会は、12月7日開会予定です。
傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局
局にお気軽にお尋ねください。

電話 0984-42-5138（直通）

8月臨時会のあらまし 第4回 臨時会（令和4年8月23日）

第4回臨時会は、8月23日の1日間で開催され、専決処分に係る補正予算の承認1件、工事請負契約1件が提案され、原案どおり承認、可決しました。

【議案の概要】

議案第42号工事請負契約について

○令和3年発生（繰越）第103号 道路災害復旧事業十文字・鷹巣原線
 5,687万000円

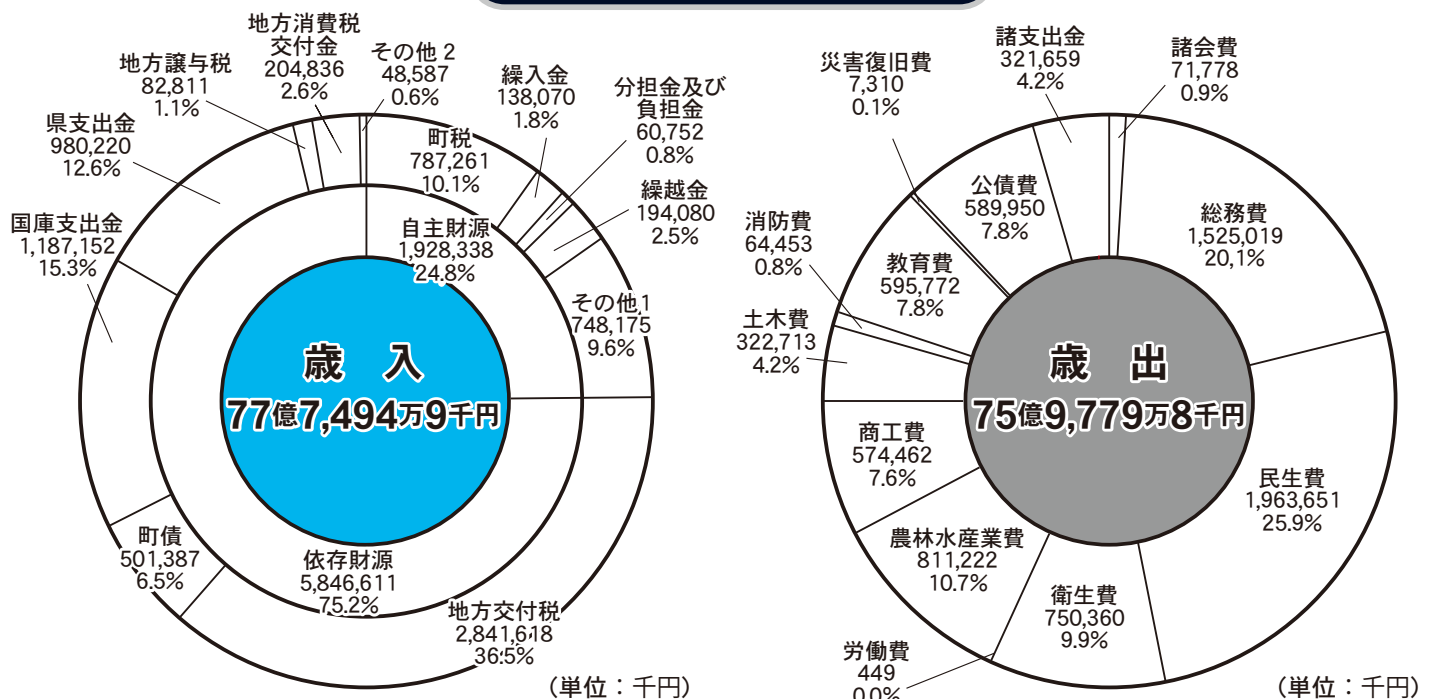
（補正された予算の主な内容）

○子育て世帯等臨時特別給付金支援事業 149万4千円
 ○高原町原油・原材料高対策特別貸付利子補給事業 332万9千円
 ○公共土木施設災害復旧事業（十文字・鷹巣原線） 500万円

9月定例会のあらまし 第5回 定例会（令和4年9月7日～22日）

令和4年9月定例会は、9月7日から9月22日までの16日間で開催されました。今定例会では、決算認定9件、人事案件2件、報告5件、条例改正等3件、補正予算4件が提案され、審議をしました。

令和3年度一般会計決算



※構成比は、四捨五入の関係で合計額が100にならない場合があります。

令和3年度の決算の歳入総額は77億7,494万9千円で、前年度と比較して3億5,196万3千円(4.3%)の減、歳出合計は75億9,779万8千円で前年度と比較して2億8,503万4千円(3.6%)の減となりました。歳入歳出差引額は1億7,715万1千円となっています。

委員の任命

★教育委員会の委員の任命について同意しました。

．．．．．福丸 幸治さん．．．．．

★農業委員会の委員の任命について同意しました。

．．．．．蒲生 隆美さん．．．．．

よろしくお願いします



令和4年度 高原町一般会計補正予算（第6号・第7号）の主な内容

○戸籍住民基本台帳費．．．．．390万5千円
マイナンバーカード対応記帳台を導入する経費。

○肥料高騰対策支援事業．．．．．2,442万9千円
新型コロナウイルス感染症の影響や国際情勢の影響により、肥料価格高騰の影響を受けている畜産農家への支援です。

○畜産飼料高騰対策事業．．．．．3,008万8千円
配合飼料価格高騰の影響を受けている畜産農家への支援です。

○農道整備費．．．．．200万円
農道、水路等の維持補修に係る経費。

○林業振興費．．．．．3,056万2千円
地域住民で組織する組合に対する、分収造林立木売払分収金。

○商工費の新型コロナウイルス感染症対策事業．．．．．3,032万1千円
消費拡大など、景気対策に資する経費2,732万6千円とコロナ禍で危機感を抱く若手経営層との副業人材マッチング事業の経費299万5千円。

○自然公園等総合整備事業．．．．．7,300万円
皇子原高千穂峰線登山道や御池松の港野営場等の整備事業の経費。

○観光費の新型コロナウイルス感染症対策事業．．．．．1,631万6千円
皇子原公園内交通公園の環境整備事業及び燃料価格高騰の影響を受けている宿泊施設への支援事業の経費。

○道路維持費．．．．．1,600万円
町道の維持管理に係る経費。

○小学校ICT整備事業．．．．．211万5千円
ICT支援員を配置する経費。

○新型コロナウイルスワクチン接種事業．．．．．6,810万4千円
オミクロン株に対応した追加接種の経費。

○稲作経営基盤強化対策事業．．．．．418万9千円
飼料米を生産する法人への農業機械導入に対する支援。

【各特別会計決算】

(単位：円)

特別会計		決 算 額		差 引 残 高
		歳 入	歳 出	
住宅新築資金等貸付事業		679,012	678,922	90
農業集落排水事業		33,812,041	30,361,625	3,450,416
国民健康保険		1,468,655,554	1,439,482,972	29,172,582
介護 保険	保険勘定	1,398,805,689	1,306,925,530	91,880,159
	サービス勘定	8,783,225	8,426,386	356,839
後期高齢者医療		300,646,568	297,346,756	3,299,812

【公営企業会計決算】

(単位：円)

区 分		水道事業	工業用水道事業	病院事業
収益的収支	収 入	206,512,117	—	1,008,517,522
	支 出	186,361,375	—	1,038,141,046
資本的収支	収 入	26,744,906	1,986,748	42,708,527
	支 出	108,155,072	1,986,748	67,340,274

一般会計予算・決算常任委員会の意見

◇認定第1号 令和3年度高原町一般会計歳入歳出決算認定について

令和3年度も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう厳しい状況の中で、適切に予算の執行がなされたものと評価できる。

今後の町政においては、世界情勢の変動や円安による物価高等により、農・商・工業者や、観光業・宿泊業、その他サービス業にとって、きびしい経営を強いられることが予想される。

国内はもちろん世界情勢をも見据えながら、町民の安心安全に繋がる行政運営をされることを強く望む。

総務経済常任委員会の意見

◇認定第2号 令和3年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

収入未済額の令和3年度末の現在高は2名の1,441万6,396円となっており、引き続き法的措置も視野に回収業務に努力されたい。

◇認定第3号 令和3年度高原町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

今後とも、加入促進に努力されるとともに、施設管理については、供用開始以来27年が経過しており、引き続き延命化を図られたい。

◇議案第49号 令和3年度高原町水道事業利益の処分及び決算認定について

水道料の未収金については、令和4年6月30日現在で、211人の197万9,721円となっており、未納者数と未納額ともに減少している。受益者間負担の公平性を確保し、今後とも健全経営を図り、安心、安全な水の供給に努められたい。

文教厚生常任委員会の意見

◇認定第4号 令和3年度高原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

一人あたりの医療費は46万5,101円と県内の高い方から7番目であり、県内市町村平均41万7,224円を上回っている。

今後も高齢化への進行による保険給付費は増加するものと見込まれ、依然として厳しい収支の状況にある。

そのような中、財政運営の責任主体となった県との方向性を共有しつつ、医療費抑制につながる健康づくりの推進、社会保険制度としての負担の公平性を確保し、財政健全化を図るためにも、なお一層の徴収率向上に努められたい。

◇認定第5号 令和3年度高原町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

今後、要支援者及び要介護者の増加が見込まれる中、介護サービスの充実は必須であることから、適正な事業運営に努められたい。

◇認定第6号 令和3年度高原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

未納額は前年度より減少しているが、保険料の公平さを保つためにも、きめ細い納付相談や個別訪問等により、納付の促進を図り、なお一層の徴収向上に努められたい。

◇議案第50号 令和3年度高原町病院事業積立金の処分及び決算認定について

令和3年度の高原町病院事業の経営は、新型コロナウイルス感染症対策に係る国・県からの補助金を受け入れ、また総務省通知により繰入基準が見直されたこと等による他会計負担金等の医業外収益が増加したものであるが、医業収支は一企業経営体としては依然危機的な状況である。

医師不足等の厳しい環境が続いており、「公立病院経営強化プラン」を策定することとなるが適切な医療提供体制の再構築を図り、経営の健全化に取り組まれることを切に要望する。

【病院の収支状況】

(単位：円)

区 分		令 和 3 年 度
医 業	収 益	587,442,406
	費 用	950,409,826
	利 益	△362,967,420
医 業 外	収 益	405,154,706
	費 用	39,001,504
	利 益	366,153,202
そ の 他	特別利益	7,684,205
	特別損失	44,572,396
	利 益	△36,888,191
当年度純利益		△33,702,409

令和3年度決算の主な内容

- ふるさと納税特産品贈呈事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・2億4,367万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業・・・・・・・・・・・・・・1億638万6千84円
- 道路排水事業（単独）温水平地区 排水路工事・・・・・・・・・・1,260万1千円
- 町道湯の崎温泉線及び湯の崎2号線配水管布設替工事・・・・・・・・1,562万7千円
- 高原中学校特別教室棟校舍屋根補修工事・・・・・・・・・・・・1,011万8千円
- 国産農畜産物供給力強靱化対策事業（繰越）・・・・・・・・・・3億4,973万3千円
- 農業基盤整備促進事業 農道整備（宇都地区・狭野地区）・・・・・・・・4,600万円
- 国立公園整備事業（繰越）御池皇子港園地進入路整備事業道路改良工事・・4,209万2千円
- 新型コロナウイルス対策高原町林業支援公共施設木質化事業皇子原公園大型木製遊具建設工事
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3,899万9千円
- 御池キャンプ村情報通信網整備事業・・・・・・・・・・・・・・1,821万6千円
- 県営農地中間管理機構関連農地整備事業 祓川第1地区・・・・・・・・・・1,520万円

現 地 調 査 令和4年9月13日（火）



▲皇子原公園大型木製遊具建設工事



▲皇子原公園神武の館カフェ建設工事



▲国産農畜産物供給力強靱化対策事業



▲温水平地区排水工事



▲御池松の港野営場施設改修工事

令和4年 第4回臨時会 議決結果

議案番号	件名	議決結果	①陣圭介	②反田吉己	③松元茂春	④中村昇	⑤温水宜昭	⑥福澤卓志	⑦末永充	⑧入佐廣登	⑨前原淳一	⑩温谷文雄
承認第10号	専決処分について（専決第12号） 令和4年度高原町一般会計補正予算（第5号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号	工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

令和4年 第5回定例会 議決結果

議案番号	件名	議決結果	陣	反田	松元	中村	温水	福澤	末永	入佐	前原	温谷
報告第5号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第6号	令和3年度高原町健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第7号	令和3年度奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社事業実績及び決算について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第8号	令和4年度奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社事業計画及び予算について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第9号	専決処分について（専決第13号）損害賠償の額を定めたことについて	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同意第2号	教育委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第3号	農業委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第1号	令和3年度高原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第2号	令和3年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第3号	令和3年度高原町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第4号	令和3年度高原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第5号	令和3年度高原町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第6号	令和3年度高原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第7号	令和3年度高原町工業用水道事業決算認定について	認定	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第43号	財政調整基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第45号	西諸地区いじめ問題対策専門家委員会共同設置規約の一部を変更する規約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第46号	令和4年度高原町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第47号	令和4年度高原町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第48号	令和4年度高原町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第49号	令和3年度高原町水道事業利益の処分及び決算認定について	可決 及認定	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第50号	令和3年度高原町病院事業積立金の処分及び決算認定について	可決 及認定	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第51号	令和4年度高原町一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

「生鮮品無人販売所」

正しく支払って！



まえはら じゅんいち
前原 淳一議員

問 高齢者の生きがいづくりである。盗難対策への支援は。

答 管理は販売所設置者が行うことが基本である。

他市町村の対策を調査し、町内の販売促進支援を目的に、無人販売所のマップを作成し

PRをしていく。



○町立病院元気化プロジェクト協議会閉会後の取り組み

問 協議会閉会後の総括は。

答 協議会設置要綱に定めてあるとおり、町立病院の役割や経営上の課題等について意見交換を行う場である。

問 今後の委員会設置は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、医療・福祉関係者を含む委員会の設置は当分の間見送っている。

問 今後の病院の在り方の考え方は。

答 現在、医師確保に向け、精力的に取り組んで

いる。今後は令和5年度までに策定する「公立病院経営強化プラン」に沿って取り組んでいく。



○児童生徒の性教育

問 性に関する指導・教育は。

答 心身の発達が顕著になる小学4年生から授業を行い、併せて、発達段階に応じた指導、教育を実施している。

問 SNSを引き金にし

た犯罪や靈感商法に対する指導、教育は。

答 小学校では、社会学級活動、総合的な学習の時間を活用し、実際にあった事例等で、非行防止教室等を実施している。中学校では、小林警察署や、SNS事業実施企業による、具体例、防犯対策等を交えた講話や学習をしている。

○木育

問 最近開催の「木育」ワークショップだが、その成果は。

答 県主催であり、市町村の実施では県内初の取り組みだ。簡単な木工品の製作をしながら、高原

のこれから等について語り合うものだった。成果としてはこれからであり、2回目の開催に向け、再検討している。



○行政区未加入

問 区に加入しないのは。

答 主に転入者が多い、最近では高齢者の施設入所や、地区の行事に参加できない等によって加入しない状況が出てきている。

問 役場職員の未加入者は。

答 いる。

問 転入者の対策は。

答 転入者には加入促進のチラシと加入用紙を配布している。



介護用品の支給申請審査を 年1回から毎月にする



なかむら のぼる
中村 昇議員

問 紙おむつなどの介護用品の支給について、審査日が本町では7月1日と年1回となっており、約1年待たなければならぬ人もいます。宮崎市や三股町では毎月申請を受け付け、翌月から支給している。改善が必要では

答 毎月か、数回か検討する。



○高齢者の詐欺被害対策について



問 小林署は70代の男性がうそ電話詐欺被害にあったと発表した。町では被害を未然に防ぐためにどのような対応を考えるか。

答 うそ電話詐欺被害対策として、広報誌やホームページに掲載、さらに回覧文書で周知を図った。

○政治姿勢 安倍元首相の国葬について

問 法的根拠のない国葬について各種の世論調査では、反対、評価しないが多数を占めている。また甲意は本来、自由であるべきである。学校を含む官公署に甲旗掲揚など強制されるとすれば、憲法第19条の思想・信条の自由を侵し、個人の内心を統制することになり許されない。町はどのような対応を考えるか。

答 私は町民に対し、甲意の表明を求める予定はございません。

○選挙の投票について

問 会話や読み書きが困難な「失語症」は脳卒中や交通事故などで脳がダメージを受けて起こる障がいである。自分で投票することが難しい失語症の障がい者に対し、鹿児島市ではあらかじめ投票したい人の名前を書いたメモを自分で用意することを市の選管が認めている。本町でも必要では。

答 町民に周知する。

○新有権者について

問 先の参院選の投票率を県が発表した。18・19歳が23・37%と低く、主権者教育や若年層向けの啓発が必要では。

答 広報誌や街頭などで啓発を行っている。また

18歳の人には投票所の入場券を送付するときに、啓発文書を送付同封している。

問 美郷町では18歳に対し、成人としての自覚、責任感、心構えを促すため18歳成人式を促すため8月に行っている。本町でも。

答 検討が必要と思う。





町政報告会について



すえなが みつる
末永 充議員

問 十分な換気が可能な集いの場を使うなど少しずつ再開するような形をとるべきではないか。

答 校区別に実施するよう検討している。

問 開催時期は。

答 11月を予定している。

問 高原町の課題についてどう示すのか。

答 病院運営、小中一貫教育について「町長と語るう会」にて示す。

○高原高校跡地の利活用

問 主な利用者は。

答 自治会、音楽の同好会、野球チーム、体操団体、計17団体である。

問 施設の借用方法は。

答 光熱費については、1時間100円を協議会会計へ支払う。

問 体育館の照明施設については、使えない状況である。どう対応するのか。

答 出来るだけ早急に企業側と相談し使えるよう進めていく。

○農道等の維持管理

問 農家の高齢化等により農道や農業用排水路の維持管理が困難になつて

いる。打開策はないか。

答 多面的機能支払交付金事業を活用した組織や農地環境保全会を設立し、維持管理活動を実施している。

○町道等の維持管理

問 上町・並木線部分的な舗装修復ではなく広範囲に舗装する必要があるが、

答 当初計画は、420mであったが60mしかできない。

問 町道二葉並木線は、施工継ぎ目のひび割れが目立つ早急に対応するべきだ。

答 随時、計画的に進めていく。

問 今後の維持管理体制は、専門分野に限らず、真剣に向き合う課題であるか。

るが。

答 技術系の職員の確保が難しく必要性も含めて検討していく。



▲町道二葉並木線の舗装ひび割れ状況

○公共排水

問 現在の雨量排水基準計画では、災害が発生することが考えられるため長期的な排水保全計画が必要であるが。

答 開発行為により排水能力不足が生じており測量設計業務の発注を予定している。その他検討していく。



文化的生活を営む権利と納税の義務



ぬくみず 温水
よしあき 宜昭議員

○マイナンバーカード普及について

問 本町のマイナンバーカード普及率は。

答 8月末現在48・1%の交付率である。

問 カード交付によるメリットは。

答 行政手続きのオンライン申請や公的な身分証明書などでの活用のほかマイナポイントの付与も町民のメリットと考えている。

問 カード普及に向けた取り組みと目標は。

答 日曜日の予約受けや木曜日の19時までの延長受けを行い今年度末70%の交付率を目指す。



▲健康診断会場でのマイナンバーカード出張申請 於ほほえみ館

○国民健康保険について

問 国民健康保険税の負担感の声もあるが。

答 加入者には保険制度

内容への理解を求めている。

問 国民健康保険税への支援事業は。

答 令和3年度、4年度の国民健康保険税増税への見送りと未就学児49名約130万円の軽減を実施した。

問 今後の事業の進め方は。

答 基金の残高を注視し、加入者の健康維持支援や医療費抑制に努めながら、必要に応じた財源確保を図っていききたい。

○後期高齢者医療制度について

問 本町の高齢者数と高齢化率は。

答 高齢者数3,641

人で高齢化率42・1%である。

問 後期高齢者医療窓口負担割合は(10月より改定)。

答 1割負担1,764人、2割負担1,58人、3割負担43人である。

○介護保険事業について

問 介護サービス利用者と施設入所者の現状は。

答 サービス利用者539名と施設入所96名が利用されている。

問 施設入所待機状況は。

答 待機者が9月1日現在102名と承知している。

問 第9期介護保険料の見通しは。

答 第8期は7,960万円の基金取り崩しにより大幅な保険料上昇を防

いだが、第9期に向けては8期の給付費が計画を下回っている事や、令和5年度の策定委員会の御意見等を踏まえ協議検討していく。



○保険税(料)の収納対策について

問 不納欠損処理については。

答 督促・催促・訪問による納付指導や財産調査を行い法に基づいて処理している。

問 債権対策は。

答 行政改革推進室で有効性等を検討しているが、債権処理の専門を有した職員育成に努めていく。



町民へ丁寧な説明の場は、 感染症対策徹底してでも行わねば



ふくざわ たくじ 議員
福澤 卓志

○教育行政

問 新校舎建設計画は。

答 既存の中学校校舎を小学校として活用し、中学校舎を新設する。

問 町民への説明は。

答 コロナ禍で延期しているが説明会を行う。

問 校舎跡地利用についての考えは。

答 地域の方々に意見や考えを聞いた後、具体的に考えていく。

問 防災施設としての活用は。



▲広原小学校

答 指定緊急避難場所及び一般避難所に指定している。

問 老朽化は進み続ける。数十年に渡つての維持管理は限界が来るのでは。

答 地域の活性化に期待

したい。

○水道行政



問 下広原地区の断水が起こつた原因は。

答 ボールタップの不具合により、貯水層内のタンクが空になった。

問 対応は。

答 部品の交換を行う。

問 建設課と水道課を別々にしては。

答 考えはない。

問 漏水等により水道料金があがつて困っている町民への対応は。

答 毎月の検針から口頭やビラ等で注意し、工事が終了したら減免している。

○福祉行政

問 子ども見守り事業を行う民間団体との連携は

答 適宜行っている。

問 宅配事業の利用世帯数は。

答 16世帯。

問 フードバンクの推進が必要では。

答 文書配布及び広報で呼びかけている。

問 病後児保育が必要。

答 令和2年から児童福祉施設で受け入れを行っている。

問 事業所を増やす考えは。

答 ある。

問 申し出はあるか。

答 先月問い合わせがあった。

○観光行政

問 JR九州「ななつ星in九州」来町対応は。

答 町内幼保園や子ども達、町民へ呼び掛けてお出迎えしたい。

問 御池皇子港に飲食店などが出来ないか。

答 設置計画がある。

問 都城市側の御池遊歩道が開通出来ないか。

答 県知事等要望しているが、技術的に厳しいといった声もある。

問 今後も要望が必要では。

答 遊覧船による護岸周遊などの計画を行う。

問 残り4棟の広原定住促進住宅建設は。

答 休止の考えは変わらない。



▲御池皇子港



行政主導の株式会社設立?



じん 陣
けいすけ 圭介 議員

○各種計画

問 国の施策による町の計画は、町の方針を明示しているにも関わらず更新されなければ連続性が途絶える。現状の是非は。

答 空白期間が生じることなく策定すべきものもある。

○町史・文化財

問 町史の更新につき現状、計画又は方針は。

答 町制100周年の記念事業として令和16年度

に更新を行う計画。それまでの主な町の出来事等は、「町制要覧資料編」に記録し、これらを活用し編纂作業を進める。



問 町の文化財指定施設につき、個人での維持管理が難しい場合の対応は。

答 関係者の所有権等の尊重のため、原則所有者



○病院事業

問 サービスの中身と結果としての収支を無視しては経営改善は無理。自律的運営を目指すべき。考えは。

答 当然目指すべき。しかし、現段階においては、公立病院経営強化プランの中で、運営形態をはじめ各方面からの検討を行うっていく。

○外郭団体

問 地域商社設立にあたり各種団体等の声はどのように反映されたか。

答 一般財団法人を想定していたが、様々な声を反映して株式会社とした。地域に根差した商社となるよう合意形成を目指し、株の公募等を随時行いたい。

問 観光協会の地域商社への統合について、行政主導で促しているのでは。

答 限られた財源で効率化するという観点、観光振興という観点での観光協会への提案。

問 関係者への説明と理解は。

答 8月に観光協会理事会において、地域商社の説明の中で提案した。最

最終的な判断は観光協会に委ねた。



▲奥霧島地域商社
ツナガルたかはる株式会社
ロゴマーク

○入札制度改革

問 大規模工事について、予定価格の事前公表の見直しを検討すべきでは。

答 平均落札率は、事前公表とした平成30年度前後で差がない。当面現行のままとしたい。

問 入札結果の公表は。

答 ホームページ等での積極的公表へ向けた手続きを行う。

ようこそ高原町へ シリーズ⑥

高原での暮らしは、どげんじゃひか？

◆◆◆◆ みや 宮 ざき 崎 たかし 隆さん ◆◆◆◆

ようこそ
お願いします

○移住のきっかけを教えてください。

東京に住んでいる時、農業がしたいと思い、色々移住先を探していました。たまたま、新聞で小林市の移住の記事を読み、1カ月ほど小林市のおためし滞在をしました。その時に、高原町役場を訪ねたところ、継業者を探されている農家さんを紹介していただき、高原町に移住することを決めました。

○実際に高原町に住んでみていかがですか。

車があれば、買い物など不便ではないし、ゆったりしていて住みやすいです。神武の里として、町のあらゆるところに史跡があるし、神楽などの伝統文化も大切にされていて、とても歴史を感じる町だなと思います。

○移住してよかったことは

肉、野菜、果物、米など食べ物が美味しいです。あと大自然が近くにあり、水も空気もきれいです。

(高原町への本音を教えて)

○高原町に来て驚いたことは

言葉はかなり違うなと思いました。でも西諸弁の雰囲気は好きだし、単語の違いも面白いです。

○高原町のお気に入りの場所は

蒲竿田地域の田園地帯がお気に入りです。田園風景に霧島連山が映えてとてもきれいです。

○これからの移住者へのアドバイスは

移住者を温かく迎え入れてくれるので、何かやりたいことがあれば、すぐ町に溶け込めるし、支援もしてくれます。地域おこし協力隊など移住をサポートしてくれる制度もあるので、色々な移住者がきて、高原町を盛り上げていければいいなと思います。



編集後記



今年の夏は酷暑が続く中、コロナの第7波による町内感染者急増や台風14号での甚大な被害などで、町民生活にも大きな影響が見られました。又、町民の暮らしに密接な関わりをもちながら支援活動に携わっておられる区長さんはじめ各関係委員108名超の皆様にも多大な御苦労があったと伺っております。

そんな中、議会も様々な要因による各委員さんへのなり手不足の現状をお聞きし、町当局へは善処策をお願いして参りました。

今後、町づくりや地域づくりには欠かせない人材確保へ向けて関係各位と連携しながら取り組んで参りたいと思いますので、是非町民の皆様の御理解と御協力をお願い致します。

(温水宜昭)

